

守口市公開型 GIS 更新・運用事業 仕様書

第 1 章 総則

1 件名

守口市公開型 GIS 更新・運用事業

2 適用範囲

本仕様書は、守口市（以下、「発注者」という）が発注する「守口市公開型 GIS 更新・運用事業」に適用することとし、本仕様書に記載のない事項については、発注者と受注者で協議の上、決定することとする。

3 目的

本業務は、GIS クラウドサービスを利用し、本市が保有する各種地図情報や行政情報をインターネット上に公開し、市民や事業者等が情報を得やすい環境を構築することで、市民サービスの向上、併せて、業務の効率化、高度化を図ることを目的とする。

4 業務期間

- (1) 契約期間 契約締結日～令和 11 年 12 月 31 日
- (2) 導入期間 契約締結日～令和 6 年 12 月 31 日
- (3) 運用期間 令和 7 年 1 月 1 日～令和 11 年 12 月 31 日

5 業務概要

本業務の概要は、以下のとおりとする。

(1) 公開型 GIS の導入

GIS クラウドサービスを利用し、本市が保有する各種地図情報や行政情報を配信できるように、初期登録、配信設定の準備・確認、テスト配信、調整、運用環境の整備等を行う。

(2) 窓口システムの導入

① 都市整備部窓口システム（1 台）

都市整備部内に公開型 GIS の配信情報と同様の情報を閲覧ができるよう、端末の調達、設定、インターフェースの構築、調整、運用環境の整備等を行う。

② 課金機能による図面印刷

当該システムについては、窓口を訪れる利用者が課金をすることで、図面印刷ができること。

(3) システム保守及び運用（サポート窓口の設置含む）

公開型 GIS 及び窓口システムを効率的かつ効果的に利活用をする上での支援を行う。

6 システムの変更

システムの全部又は一部が、法令改廃、社会環境の変化等に伴い変更を必要とする場合、受注者はシステムを変更できるものとし、その内容については、発注者と受注者の協議により対応の方針を決定するものとする。

7 提出資料

本業務を実施するにあたり受注者は、下記の書類を作成し提出するものとする。

- (1) 実施計画書
- (2) 着手届
- (3) 工程表
- (4) 管理技術者届出書(健康保険証の写し、業務経歴書)
- (5) 照査技術者届出書(健康保険証の写し、業務経歴書)
- (6) 情報セキュリティマネジメントシステム (ISO/IEC 27001 又は JIS Q 27001) 認証登録証明書又はプライバシーマーク (JIS Q 15001) 認証登録証明書
- (7) その他、発注者が必要と求める書類

8 配置技術者

本業務の実施においては、次に示す管理技術者及び照査技術者を配置すること。

(1) 管理技術者

1) 下記の実績を有する者

地方公共団体における、公開型 GIS 導入（更新）事業において、管理技術者として従事した実績（再委託による業務及び照査技術者としての実績は含まない）を有する者。また、受注者が3ヶ月以上雇用している証明（健康保険証写し）及び業務経歴書を提出するものとする。

(2) 照査技術者及び照査の実施

1) 下記の実績を有する者

地方公共団体における、公開型 GIS 導入（更新）事業において、照査技術者として従事した実績（再委託による業務の実績は含まない）を有する者。また、受注者が3ヶ月以上雇用している証明（健康保険証写し）及び業務経歴書を提出するものとする。

9 業務実施計画

受注者は、本業務の実施に先立ち、業務の概要、実施体制、スケジュール、システム概要、システム構築方法、品質確保計画、情報セキュリティ対策、システムの運用・保守管理方法、緊急時の対応などについてまとめた業務実施計画書を提出することとする。

業務実施計画書は、契約締結後7日以内に提出することとし、内容等についての詳細は監督職員との協議によるものとする。

1 0 法令遵守

本業務を実施するにあたり関係する法令・規則等に基づき実施すること。

1 1 貸与資料と使用制限

本業務の実施にあたり必要な資料は発注者が受注者に貸与することとし、貸与にあたっては、受注者は、返却期日を記した借用書を発注者へ提出するものとする。受注者は、貸与された資料は慎重に取り扱い及び保管を行うものとし、業務上必要であっても発注者の承諾なくして複製をしてはならない。

1 2 情報セキュリティの順守

受注者は、本業務で知り得た情報に関する秘密、その他本市の事務に関する秘密事項を第三者に漏洩してはならず、また本業務終了後も同様とする。

また、本業務内で取り扱う利用者情報等の個人情報の保護及びデータ管理の観点から以下のいずれかの認証を取得しているものとする。

- (1) 情報セキュリティマネジメントシステム (ISO/IEC27001 又は JISQ27001)
- (2) プライバシーマーク (JISQ15001)

1 3 再委託の制限

本業務の主たる部分に関する再委託は原則として認めないものとする。本業務の主たる部分とは公開型 GIS 更新業務のことを指す。ただし、あらかじめ書面により発注者の承諾を得た場合はこの限りではない。その場合において、受注者は再委託先に対し、受注者が本契約により個人情報の取り扱いに関し負担している義務と同様の義務を負担することを書面にて締結させなければならない。

1 4 第三者のソフトウェアの使用

本業務を実施するにあたり、第三者ソフトウェアの利用が必要となる場合は、発注者及び受注者はその取扱いについて協議し、発注者又は受注者と第三者との間でライセンス契約を締結するなど、必要な措置を講ずることとする。

1 5 瑕疵

業務完了後、受注者の過失、疎漏により不良箇所が発見された場合は、発注者の指示により、受注者の負担において速やかに修正ならびに補足するものとする。

1 6 損害賠償

受注者は、本業務実施中に生じた諸事故等に対して一切の責任を負い、発注者に発生原因・経過・内容等を報告し、発注者の指示に従うものとする。

1 7 関係者等との協議

受注者は、本業務実施にあたり、関係者と協議調整を必要とする場合は、発注者に相談の上、実施することとし、その結果を速やかに報告することとする。

1 8 権利の帰属

本業務における成果物の権利は、以下に留意したうえで、発注者に帰属するものとし、受注者は発注者の許可なく使用、流用してはならない。

- (1) 本サービスのプログラムに結合され又は組み込まれたもので、受注者が従前から有していたプログラム及び受注者が本業務の実施中に、又は新たに作成したプログラムの著作権は、受注者に帰属する。
- (2) 第三者のソフトウェア及びデータの著作権は、当該第三者に帰属する。
- (3) 発注者は、納入された本サービスのプログラムの著作物の複製物を自己利用するために必要な範囲で著作権法に従って利用できるものとする。

1 9 記載外事項・疑義

- (1) 仕様書に記載のない事項は、発注者と受注者が協議し決定の上、対応すること。
- (2) 仕様書の記載内容に疑義が生じた場合は、発注者と受注者が協議し決定の上、対応すること。

第2章 システム要件

1 前提条件

(1) 公開型 GIS

① 利用形態

- ・一般市民等からなる利用者にとって、操作が簡便で、判りやすい地図情報が利用できるシステムであること。
- ・本システムの利用にあたり、プラグイン等の特別なソフトのダウンロードが不要な仕組みであること。
- ・パソコン向けシステムの他に、スマートフォン向けシステムも提供できること。
- ・モバイル端末においては、画面サイズにあわせて、レイアウトを調整して地図を表示できること。
- ・操作性に優れ、一般の利用者がストレスなく地図遷移や画面展開が可能であるなど、動作速度が優れたものであること。

② 運用形態

- ・サーバ・アプリケーションの導入、運用及び保守作業の全てについては、受注者の管理下において直接行うものとし、責任の所在が不明確とならないよう、管理体制を構築すること。
- ・24時間365日の安定運用に向けた運用体制、環境、セキュリティ管理等が整備されていること。
- ・障害発生時にサービスの早期復旧に備えた仕組みを有していること。

③ 背景地図

- ・インターネット公開、印刷など二次利用が可能なこと。
- ・背景地図は受注者の責で指定・購入・設定すること。

(2) 窓口システム

① 利用形態

- ・都市整備部窓口システム（1台）を設置すること。
- ・都市整備部窓口システムでの閲覧可能な情報は、公開型GISの配信情報と同様の情報のものとし、設置場所は、守口市役所本庁舎5階北側都市整備部内とすること。なお、詳細は発注者と協議の上決定するものとする。

② 運用形態

- ・ハードウェア・アプリケーションの導入、運用及び保守作業の全てについては、受注者の管理下において直接行うものとし、責任の所在が不明確とならないよう、管理体制を構築すること。
- ・窓口システムの形態はインターネット接続又はWi-Fi設置によるスタンドアロン運用を可能とすること。なお、インターネット又はWi-Fiを利用する場合、工事、設置、通信費用及び運用についても同様に、受注者の管理下において直接行うものとする。
- ・安定運用に向けた運用体制、環境、セキュリティ管理等が整備されていること。
- ・障害発生時にサービスの早期復旧に備えた仕組みを有していること。

③ その他

- ・ハードウェアの調達、搬入及び指定場所への据え付け、OS及びプリンタドライバ等のインストールのほか、窓口システムの動作環境の設定は受注者にて行うこと。
- ・窓口システムの導入に際し調達するハードウェアについては、「別紙1 ハードウェア要件」のとおりとすること。

2 動作環境

公開型GISの動作環境は、「別紙2 公開型GIS動作環境」のとおりとし、詳細は、発注者と受注者が協議の上決定すること。

3 基本機能要件

システムの基本機能要件は、「別紙3 システム基本機能」のとおりとし、詳細は、発注者と受注者が協議の上決定すること。

4 地図データ要件

(1) 搭載データ

- ・本システムで提供する地図情報は「別紙4 搭載予定データ一覧」のとおりとし、詳細は、発注者と受注者が協議の上決定すること。

- ・基本的には、現行公開型 GIS に搭載されている地図データを新システムに移行し、現状と同様の情報が閲覧できること。なお、搭載する地図データは Shape 形式とし、発注者が提供するデータを対象とする。
- ・受注者は、発注者が貸与する地図データの展開・検証を行い、必要に応じ座標系を世界測地系に変換するものとし、地図データの搭載に際しては、既存レイヤの統合等の調整、作業を行うこと。なお、発注者は、契約後速やかに貸与資料及び搭載データを受注者に提供するものとし、これを受け、受注者は新システムに移行するものとする。

(2) 配信する地図データの設定

- ・発注者が貸与する地図データは、受注者の所有する機器等で提供可能なようにデータ変換を行うが、法規制情報等も含まれることから、データの破損、改変等が一切起こらないよう、細心の注意のもとに作業を行うこと。
- ・関係図書が法令等で定められている情報については、その印刷書式に則った正確な色表現、ライン及びハッチングパターンを設定すること。また、背景地図が見づらくなならないよう発注者と協議のうえ着色等の調整が可能なこと。
- ・表示する地図の内容（主題地図）に応じて、背景として使用する背景地図は、任意に選択できること。

(3) システムで利用する背景地図

① 背景地図の種類

- ・発注者が提供する都市計画基本図のほか、各搭載データで使用している地形図等を利用できること。
- ・住所地名、目標物名称や鉄道、幹線道路等の表示、縮尺に応じた地図表現、定期的な更新、印刷等が可能な民間地図を受注者が調達すること。

② 縮尺条件

- ・地図の縮尺は、市域全域において 1/2,500 以上まで拡大可能とし、表示縮尺の段階を複数設定し、利用者が任意に切り替えできるようにすること。
- ・表示縮尺毎に最適表示されるように、縮尺に合わせて表示項目の間引き処理や、注記文字の配置調整等を行うこと。特に地図の拡大縮小にかかわらず、線の太さや注記文字のサイズが一定であることとし、1/25,000、1/50,000 といった小縮尺で表示する場合であっても常に視認性の高い文字サイズとすること。

③ 背景地図の切替機能

- ・表示する主題地図情報によって、背景用の地図を切り替えることが可能であること。
- ・表示する主題地図情報によって、切り替え可能な背景地図の選択肢を割り当て可能であること。
- ・精度が必要となる主題地図データを表示する場合は、背景用の地図を自動的に 1/2,500 地形図データに変更できること。

④ 情報の更新

- ・常に最新の状態を保つようにし、各背景地図とも、更新データが入手出来次第、速やかにシステムに反映すること。

5 データセンター要件

本業務に用いるデータセンターは、以下の要件を満たすこと。

- ① 日本国内に立地していること。
- ② 耐震又は免震構造であり、東日本大震災級の地震に耐えうること。
- ③ 代替機等を常備するなど、重大障害時（サーバ機能停止等）にもシステム停止がないよう、冗長性を確保すること。
- ④ 停電時等による電力供給の停止に備え、機器が適切に停止するまでの間に十分な電力を供給する容量の予備電源を備えること。
- ⑤ 不正な侵入を防止するため、適正な入退室管理を行うこと。
- ⑥ 外部からの不正なアクセスを防止するためにファイアウォール、侵入検知システム（IDS）、ウイルス対策ソフトウェアなどによって、サイバー攻撃への対策を講じていること。

6 システム導入

システムの導入にあたり、受注者は本稼働前に以下の作業を実施するものとする。

項番	項目	内容
1	要件・仕様打合せ・整理	システム設定の基準を発注者に説明し、設定条件を決定する。なお、システム管理者に対しては集合形式のシステム説明会を実施する。
2	システム設計・開発・導入調整	項番1の設定条件を満たし、適切な運用が行えるようシステム導入調整を行う。
3	データ調査	データの所有者又は管理者に対してヒアリング等によるデータ調査を実施する。
4	データ搭載	項番1の設定条件に基づき、「別紙4 搭載データ一覧」のデータを搭載する。
5	動作確認・運用テスト	インターネット環境に接続したパソコン等を使用し問題なく動作することを確認する。 発注者が動作確認や検証や練習等をした際に生じた問題点・疑問点についての説明やシステムの対応を行う。
6	運用支援	システム公開当初、現場に混乱が発生しないよう運用支援を行う。 また令和7年（2025年）1月1日からシステム稼働を開始する予定であるが、システムが適切に稼働するよう運用支援を行う。

第3章 運用及び保守要件

1 基本事項

- (1) システムは24時間365日稼働するものとする。ただし、システムのメンテナンス等を実施する場合はこの限りではない。
- (2) システムのメンテナンスを実施するために一時的にシステムを停止する際は、事前に発注者の承認を得るとともに、システム利用者に対して、事前にシステムトップページでその内容及び期間を予告周知し、システムメンテナンス中も可能な限りその旨を周知するものとする。
- (3) 発注者の問い合わせに対するヘルプデスクを設けること。
- (4) 運用・保守サービスを提供するにあたって、SLA(Service Level Agreement)を締結することとし、サービスレベルの設定項目は、「別紙5 SLA規定」のとおりとし、詳細は、発注者と受注者が協議の上決定する。
- (5) 搭載データの更新頻度等については、「別紙4 搭載データ一覧」を参照すること。
- (6) 運用及び保守に要する費用には、窓口システムでインターネット、wi-fiを利用する場合、接続・利用に係る通信費、図面印刷に係る消耗品費及び契約期間終了後の機器の撤去費等に係る全ての費用を含む。
- (7) 運用報告、課題の相互確認、システム利活用促進のため、打合せを年1回実施すること。

2 業務引き継ぎに関する事項

(1) 業務継続のための支援

本業務の履行期間の満了、契約の全部又は一部の解除その他契約の終了事由の如何を問わず、本業務が終了となる場合には、受注者は、発注者の指示のもと、本業務の終了日までに、発注者が継続してシステム利用が行えるよう必要な措置を講じるとともに、新規システム提供業務者に移行する作業の支援を行うこと。

(2) 業務引継書の作成

引き継ぐべき業務の内容について、業務引継書を作成し、発注者に提出すること。

第4章 研修要件

システムの機能、操作方法等を理解するために仮稼働開始前に、システムを利用する発注者の管理担当者に対し、操作マニュアルを用いて操作研修を実施すること。事前準備や講師等は受注者が行い、研修場所の提供は発注者が行うこととする。

第5章 その他

1 納品書類

マニュアル等の納品書類は以下のとおりとする。紙媒体及び電子媒体で必要部数納品すること。

(1) 打ち合わせ協議簿	各 1 部
(2) システム管理者操作説明書	2 部
(3) システム利用者向け操作説明書	1 5 部
(4) データ登録内容一覧	2 部

2 支払い

システム導入費については、受注者はシステムを導入後、発注者の検査を受け、その検査に合格した場合において、請求することができる。

システム使用料については、各年度の完了払いを原則とし、発注者が各年度の業務について検査を実施し、受注者はその検査に合格した場合において、請求を行うことができる。発注者は、適正な請求書を受理した日から起算して 30 日以内に支払うものとする。

3 個人情報の取扱いにおける遵守事項

(1) 個人情報の使用及び管理

受注者は、借用した個人情報の使用及び管理を厳重かつ適正に行うとともに、本業務を適正に遂行するために、臨時職員の雇用又は業務の再委託を実施する場合には、発注者に書面にて報告し承諾を得るとともに、当該臨時職員及び再委託先に対しても、個人情報の適正な使用及び管理が行われるよう監督するものとする。

(2) 個人情報の記録の複写及び複製の禁止

受注者は、借用した個人情報を含むすべての記録について、システム障害時の復旧用を除き、いかなる形態でも複写及び複製してはならない。

(3) 個人情報の委託目的以外の使用及び第三者への提供の禁止

受注者は、借用した個人情報について、本業務の遂行以外には利用してはならない。また、本業務の遂行に関係のない第三者に対して提供してはならない。

(4) 個人情報の記録の適正な使用、保管及び搬送

受注者は、借用した個人情報の使用、保管及び搬送にあたり、善良な管理者としての注意義務に従い、細心の注意を払って行わなければならない。

(5) 借用した個人情報の返還義務

受注者は、借用した個人情報について、発注者から借用した時点と同一の記録状態及び形態で、借用期限内に返却しなければならない。

(6) 事故発生時の報告及び対応

受注者は、万一、借用した個人情報の漏洩や流出、使用目的以外の利用が認められた場合は、速やかに発注者に対して文書で報告するとともに、その後の措置は、発注者の指示に従わなければならない。

また、受注者の責に起因する事故により、第三者から発注者が損害賠償を請求されたことによる係争費用及び判決により発生した弁償額は、受注者が負担しなければならない。

4 情報提供

発注者がシステムに関して、情報提供を求めた場合に応じること。ただし、その情報が受注者の不利益になる場合は協議する。

別紙1 ハードウェア要件

種別		仕様	台数
PC	OS	Windows11 Pro (64bit)	1台
	CPU	インテル® Core™ i5 第12世代 プロセッサ 以上	
	メモリ	8GB 以上	
	ストレージ	SSD 250GB 以上	
	ドライブ	DVD-ROM	
	付属品等	USB光学マウス	
USBキーボード			
RS232Cポート			
モニタ	方式	液晶ディスプレイ	1台
	サイズ	23型ワイド 以上	
プリンタ	方式	レーザー方式又はLED方式	1台
	対应用紙サイズ等	A4・A3カラー、片面印刷（両面可）	
	印刷速度	連続印刷 カラー・モノクロ 35枚／分以上 （A4横送り時換算）	
	給紙装置	A3トレイ 300枚以上	
	メモリ	2GB 以上	
	解像度	1,200×1,200dpi 以上	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルスソフト（5年のファイル定義更新含む） ・必要なケーブル類（スイッチングハブを含む） ・保守パック5年 （オンサイト対応を含む。各種ハードウェア） 		1式

※本要件によりがたい場合は発注者に協議すること。

別紙2 公開型GIS動作環境

分類	分類	機能	内容
全般	全般	1 アクセス制限	システムへの同時アクセス数は無制限であること。
		2 動作環境	特定のアプリケーション（プラグイン）をダウンロードすることなく、ブラウザのみで動作すること。 （管理者機能も含む）
端末環境	PC	3 OS	Windows10以降、およびmacOS11以降の各OSで利用できる。また、運用期間中に公開される主要なOS（Windows、macOS）のバージョンアップにおいて、追加費用なしで対応できること。 ※1
		4 ブラウザ	Microsoft Edge、FireFox、Safari、Google Chromeなど利用頻度の想定されるウェブブラウザで利用できること。また、運用期間中に公開される各ブラウザの最新バージョンにおいて、追加費用なしで対応できること。 ※1
		5 接続回線	通信回線が10Mbps程度でも、利用者がストレスを感じないレスポンスにて利用できること。
	スマートフォン・タブレット	6 OS	Android11以降、およびiOS15以降の各OSで利用できること。また、運用期間中に公開される主要なOS（Android、iOS）のバージョンアップにおいて、追加費用なしで対応できること。 ※1
		7 ブラウザ	Google Chrome、Safari等の対象OS毎の標準ブラウザで利用できること。また、運用期間中に公開される主要なブラウザ（Google Chrome、Safari）において、追加費用なしで対応できること。 ※1

※1 ただし、大幅なシステム改変や、抜本的なシステム改修が必要な場合はこの限りではない。発注者と受注者の双方にて協議し、対応方針を決定するものとする。受注者は協議に応じ、その実現に向けて最大限の努力を行うこと。

別紙3 システム基本機能

機能一覧(パソコン)

分類	小分類	機能	内容	
システム のページ 構成	ページ表示	1 端末に応じたページ表示	パソコン版、スマートフォン版の自動振り分けを行い、端末に応じたページを表示できる。	
		2 利用者向けトップページ	システムをインターネット向けに公開するにあたり、利用者向けのトップページを設置できる。	
	地図ページ	3 トップページへの情報表示	トップページは、新着情報や問い合わせ先等の情報を表示できる。	
		4 マップ選択	利用者が、閲覧するマップを選択できる。	
		5 システム名称の設定	タイトル部分のシステム名称は、発注者が指定する名称を設定し表示できる。	
		6 色調の設定	タイトル部分の色調は、発注者のホームページの色調に合わせ設定し表示できる。	
		7 画像等の設定	発注者が貸与する画像(記章、イメージ、キャラクター等)を設定し表示できる。	
	オンラインマ ニュアル	8 地図表示・印刷および属性・住所検索	目的の地図を表示させるとともに、その属性情報の検索、住所情報の検索、印刷等ができる。	
		9 案内地図の提供	公共施設や、商業施設等の位置が適切に配置され視覚的にわかりやすい案内地図を、施設情報、観光情報等に用いる背景地図として利用できる。	
		10 ページサイズ・地図表示エリアの最適化表示	利用者のブラウザのサイズに合わせて、自動的にページサイズや地図表示エリアを最適化して表示できる。	
	地図機能	地図移動	11 オンラインマニュアルの表示	操作方法を記載したオンラインマニュアルページを参照できる。
			12 オンラインマニュアルの内容	画面キャプチャ等を使って、機能別に解りやすく記載されている。
		拡大・縮小	13 オンラインマニュアルの更新	機能がバージョンアップした場合は、速やかに内容が更新される。
14 ダブルクリックによる移動			ダブルクリックした地点を中心として、地図の表示位置を移動できる。	
15 ドラッグによる移動			マウスのドラッグ操作により、地図を掴むように表示位置を移動できる。	
16 キーボードによる移動			キーボードの矢印ボタンを押下することで、指定した方向に地図の表示位置を移動できる。	
広域案内図(索引図)		17 一定倍率拡大・縮小	一定の倍率で、地図を拡大・縮小表示できる。	
		18 範囲拡大	マウス操作で指定した範囲に対して、地図を拡大表示できる。	
		19 マウスホイールによる拡大・縮小	マウスホイールを利用して、地図を拡大・縮小表示できる。	
		20 縮尺による表示制御	表示するマップやレイヤごとに、拡大・縮小の縮尺設定ができ、指定縮尺に応じてレイヤを非表示にできる。	
マップ・レイヤ		21 メイン地図の位置表示	広域案内図上に、メイン地図画面の表示位置を示すことができる。	
		22 広域案内図上での場所指定	広域案内図上で指定した場所に、地図の表示位置を移動できる。	
		23 表示・非表示	広域案内図の表示・非表示の切り替えができる。	
背景地図表示		24 マップの切り替え	表示するマップを任意に切り替えることができる。	
	25 レイヤの選択	重ね合わせて表示するレイヤを任意に選択できる。		
	26 レイヤの組み合わせ制限	他のマップに重ね合わせて表示できないよう、レイヤごとに制限することができる。		
	27 表示・非表示切り替え	レイヤ単位及び分類単位で表示・非表示の切り替えができる。		
	28 透過度変更	レイヤに対して、塗りつぶし表示の透過度を変更できる。		
	29 ベクトル・ラスタ重ね合わせ表示	ベクトル地図とラスタ地図を重ね合わせて表示できる。		
	主題図表示	30 背景地図の切り替え	背景地図を任意に切り替えることができる。	
31 背景地図の制限		表示するマップごとに使用する背景地図を制限できる。		
32 航空写真表示		背景地図に航空写真を選択できる。航空写真は、注記や主要地物を重ねて表示できる。		
33 航空写真の解像度調整		航空写真を表示する際には、縮尺に合わせて解像度を調整できる。		
凡例表示	34 主題図表示	図形情報に対応するポイント(点)、ライン(線)、ポリゴン(面)を表示できる。		
	35 ラベル・アイコンの回転	属性情報の値(角度)に従い、ラベルやアイコンを回転して地図上に表示できる。		
	36 縮尺によるアイコン表示制御	縮尺に応じて、アイコンや図形を非表示にできる。		
	37 縮尺によるラベル表示制御	縮尺に応じて、ラベルを非表示にできる。		
2画面地図表示	38 アイコン・ラベルの一定サイズ表示	縮尺に応じて、アイコンシンボルのサイズや形状等を変更せず、画面上で一定のサイズで表示できる。		
	39 凡例表示	表示中の情報に対する凡例を表示できる。		
地図の広域表示	40 凡例の表示・非表示	凡例画面の表示・非表示の切り替えができる。		
	41 2画面地図表示	通常の写真表示画面を主地図と補助地図の2画面で表示ができる。		
地図画面装飾	42 2画面地図の連動	2つの地図の一方をスクロール移動した場合、もう一方の地図も連動してスクロール移動できる。		
	43 地図表示部分の拡大	検索や凡例表示等のメニュー部分を非表示にして、地図部分の表示を広くできる。		
注意書き表示	44 スケールバー表示	地図画面にスケールバーを表示できる。		
	45 注意書き表示	地図画面に注意書きを常時表示できる。		

分類	小分類	機能	内容
検索機能	住所検索	46 リストからの住所検索	リストから町名、丁目、番地等を選択し、地図の表示位置を指定できる。
		47 キーワードによる住所検索	キーワードにより住所候補リストを抽出し、リストから選択した場所を地図で表示できる。
		48 住所表記の正規化	住所の表記は、全角、半角および英数字、漢数字、日本語表記、「—」「ー（長音）」による表示等、想定される住所表記に対して対応できる。
	目標物検索	49 リストからの目標物検索	施設区分、施設名称等をリストから選択し、地図の表示位置を指定できる。
	地図中心住所検索	50 表示中心の住所表示	地図の中心点の住所(町字名まで)を表示できる。
	図形検索	51 円範囲指定による図形検索	地図上の任意の範囲に含まれるレイヤの図形名称一覧を表示させ、いずれかを選択することで該当する図形の属性情報を表示できる。
		52 任意範囲指定による図形検索	地図上の任意の面範囲(矩形等)に含まれるレイヤの図形名称一覧を表示させ、いずれかを選択することで、該当する図形の属性情報を表示できる。
		53 周辺検索	地図中心点の周辺の図形を検索でき、結果を一覧表示できる。
	属性検索	54 条件指定による属性検索	条件を指定して属性情報を検索できる。
		55 選択属性の図形位置表示	検索結果の一覧から選択した属性情報に対応する図形を、画面中心に表示した状態に画面遷移できる。
56 串刺し検索による属性表示		重ね合わせて表示されている図形に対して、串刺し検索し同時に属性情報を表示できる。	
最短経路検索	57 2地点間の最短経路検索	任意に指定した2地点間の最短経路を検索し、地図上に経路及び距離を表示できる。なお、自動車の場合と徒歩の場合とそれぞれで経路検索ができる。	
	58 検索結果の印刷	最短経路検索された結果が表示されている状態で、印刷ができる。	
属性機能	属性情報表示	59 図形からの属性情報表示	地図上の任意の図形を選択することで、その属性情報を表示できる。
		60 一覧表形式の属性情報表示	指定したレイヤの属性情報を一覧表形式で表示できる。なお、一覧表から選択した図形へ位置移動ができる。
		61 同一箇所の複数図形の選択	同一箇所に複数の図形が登録されている場合は、選択候補を表示させた上で、いずれかを選択することで、該当する図形の属性情報を表示できる。
		62 URLリンク表示	属性情報に含まれるURLを選択することでブラウザが起動しリンク先を表示できる。
		63 添付画像の表示	添付された画像ファイルを参照できる。
		64 添付文書ファイルの表示	添付された文書ファイル、PDFファイルを参照できる。
	属性データ型	65 各種データ型への対応	属性情報として各種のデータ型を利用できる。(整数型、実数型、文字列型、日付型(西暦・和暦)、URL型(登録されたURL値はハイパーリンクとして表示))
		計測機能	66 距離計測
67 任意範囲の外周・面積計測	マウス操作により選択した任意の多角形の外周及び面積を計測できる。		
68 計測中の地図表示制御	距離及び面積の計測中に縮尺の変更やスクロールができる。		
69 計測結果の印刷	計測された結果が表示されている状態で、印刷ができる。		
印刷・出力機能	印刷	70 地図印刷	表示している地図の内容を印刷できる。
		71 指定様式印刷	マップに応じた指定様式で、尚且つ、選択縮尺にて印刷できる。
		72 属性レイアウト印刷	属性情報等を地図と合わせて用紙内にレイアウトできる。
		73 プレビュー表示	プレビュー画面で事前に印刷内容の確認ができる。
		74 プレビュー上での地図表示調整	印刷設定画面内またはプレビュー画面内で、位置の微調整や縮尺の変更等ができる。
		75 地図全面印刷	属性情報を表示させず、地図画面全面を印刷できる。
	76 用紙サイズ選択	用紙サイズはA4版、A3版で、任意の向きで印刷が可能である。	
出力	77 PDFレイアウト出力	属性情報等を地図と合わせて用紙内にレイアウトし、PDF形式で出力できる。	
一時図形作図機能	作図	78 一時図形作図	地図上に一時的な図形を作図でき、ブラウザを閉じた段階で作図した情報を消去できる。
		79 図形種類選択	点(記号)、線、面、円、テキストから選択し、作図できる。
		80 図形編集	作図した情報を編集、削除、移動できる。
		81 図形の頂点編集	線、面の作図情報に対して、編集(頂点の追加・削除・移動)できる。
		82 点(記号)種類の選択	点(記号)は、あらかじめ登録された一覧から選択できる。
		83 図形の図式設定	線、面の作図は、図形ごとに、辺、面に係る色、太さ等の表現を設定できる。
		84 テキストのサイズ・色設定	テキストの作図は、図形ごとに、フォントサイズ、色等を設定できる。
		作図図形の印刷・保存	85 作図図形の印刷
86 作図図形のKML保存	作図した図形をKML形式で保存することができる。		
87 KMLデータのインポート	KML形式の図形データを、作図データとして読み込み、地図上に表示できる。		
外部利用	地図URL	88 URL表示	表示中の地図情報をURLで表示できる。
		89 QRコード表示	表示中の地図情報をQRコードで表示できる。

機能一覧(スマートフォン)

分類	小分類	機能	内容
システムのページ構成	ページ表示	1 端末に応じたページ表示	スマートフォン版、パソコン版の自動振り分けを行い、端末に応じたページを表示できる。
		2 マップ選択	利用者が、閲覧するマップを選択できる。
		3 システム名称の設定	タイトル部分のシステム名称は、発注者が指定する名称を設定し表示できる。
	地図ページ	4 案内地図の提供	公共施設や、商業施設等の位置が適切に配置され視覚的にわかりやすい案内地図を、施設情報、観光情報等に用いる背景地図として利用できる。
		5 ページサイズ・地図表示エリアの最適化表示	利用者のブラウザのサイズに合わせて、自動的にページサイズや地図表示エリアを最適化し表示できる。
地図機能	地図移動 拡大・縮小	6 スワイプによる移動	スワイプ操作で、地図の表示位置を移動できる。
		7 一定倍率拡大・縮小	一定の倍率で、地図を拡大・縮小表示できる。
		8 ピンチイン・ピンチアウトによる拡大・縮小	ピンチイン・ピンチアウトで連続的に地図を拡大・縮小表示できる。
	マップ・レイヤ	9 縮尺による表示制御	表示するマップやレイヤごとに、拡大・縮小の縮尺設定ができ、指定縮尺に応じてレイヤを非表示にできる。
		10 マップの切り替え	表示するマップを任意に切り替えることができる。
		11 表示・非表示切り替え	レイヤ単位及び分類単位で表示・非表示の切り替えができる。
	背景地図表示	12 ベクトル・ラスタ重ね合せ表示	ベクトル地図とラスタ地図を重ね合わせて表示できる。
		13 背景地図の切り替え	背景地図を任意に切り替えることができる。
		14 背景地図の制限	表示するマップごとに使用する背景地図を制限できる。
		15 縮尺による切り替え	表示する縮尺に合わせて背景地図を切り替えることができる。
		16 航空写真表示	背景地図に航空写真を選択できる。航空写真は、注記や主要地物を重ねて表示できる。
	主題図表示	17 航空写真の解像度調整	航空写真を表示する際には、縮尺に合わせて解像度を調整できる。
		18 主題図表示	図形情報に対応するポイント(点)、ライン(線)、ポリゴン(面)を表示できる。
		19 ラベル・アイコンの回転	属性情報の値(角度)に従い、ラベルやアイコンを回転してを地図上に表示できる。
		20 縮尺によるアイコン表示制御	縮尺に応じて、アイコンや図形を非表示にできる。
		21 縮尺によるラベル表示制御	縮尺に応じて、ラベルを非表示にできる。
		22 アイコン・ラベルの一定サイズ表示	縮尺に応じて、アイコンシンボルのサイズや形状等を変更せず、画面上で一定のサイズで表示できる。
凡例表示 注意書き表示	23 凡例表示	表示中の情報に対する凡例を表示できる。	
	24 注意書き表示	地図画面に注意書きを常時表示できる。	
検索機能	住所検索	25 リストからの住所検索	リストから町名、丁目、番地等を選択し、地図の表示位置を指定できる。
		26 キーワードによる住所検索	キーワードにより住所候補リストを抽出し、リストから選択した場所を地図で表示できる。
		27 住所表記の正規化	住所の表記は、全角、半角および英数字、漢数字、日本語表記、「—」「ー(長音)」による表示等、想定される住所表記に対して対応できる。
	属性検索	28 串刺し検索による属性表示	重ね合わせて表示されている図形に対して、串刺し検索と同時に属性情報を表示できる。
最短経路検索	29 2地点間の最短経路検索	任意に指定した2地点間の最短経路を検索し、地図上に経路及び距離を表示できる。なお、自動車の場合と徒歩の場合とそれぞれで経路検索ができる。	
属性機能	属性情報表示	30 図形からの属性情報表示	地図上の任意の図形を選択することで、その属性情報を表示できる。
		31 同一箇所の複数図形の選択	同一箇所に複数の図形が登録されている場合は、選択候補を表示させた上で、いずれかを選択することで、該当する図形の属性情報を表示できる。
		32 URLリンク表示	属性情報に含まれるURLを選択することでブラウザが起動しリンク先を表示できる。
		33 添付画像の表示	添付された画像ファイルを参照できる。
	属性データ型	34 各種データ型への対応	属性情報として各種のデータ型を利用できる(整数型、実数型、文字列型、日付型(西暦・和暦)、URL型(登録されたURL値はハイパーリンクとして表示可能))。

機能一覧(システム管理者機能)

分類	小分類	機能	内容
管理者機能	マップ管理	1 マップ編集機能	背景地図以外のマップについて、登録・更新・削除ができる。
		2 背景地図設定	公開するマップに応じて、予め用意した背景地図から選択できる。
		3 利用規約編集機能	公開するマップの利用規約を編集できる。
	4 データダウンロード	Shape形式、CSV形式、KML形式によるデータのダウンロードができる。	

機能一覧(窓口設置端末)

分類	小分類	機能	内容
窓口設置 端末	全般	1 全般	窓口設置端末では、基本的に公開型GIS(パソコン用サイト)をそのまま利用する。よって、操作も同様にマウス及びキーボードを使用するものとする。
	課金印刷装置 接続	2 課金印刷装置接続	課金印刷装置との接続ができる。
	タイマー制御	3 タイマー制御	一定時間操作がないとき開始画面に戻ることができる。
	開始画面	4 開始ボタン	開始画面には、利用開始を示す開始ボタンを配置する。尚、開始ボタンが押されたログ(年月日、時間)を取得できること。
	画面制御	5 画面制御	窓口システムのトップページ、及び地図ページ以外の画面は表示できないように画面制御すること。尚、システム終了やOSの操作もできないように画面制御すること。
		6 画面制御の設定と解除	職員が簡単な操作で画面制御の設定開始と解除を行えること。
課金機能	課金印刷	7 課金印刷	課金システムと連動し、印刷画面の課金販売が可能なこと。
	領収書出力	8 領収書出力	領収書の発行が可能なこと。
	販売金額変更	9 販売金額変更	用紙サイズ、カラー・白黒の別に応じた販売金額の変更が可能なこと。
	対応硬貨	10 対応硬貨	10円、50円、100円、500円硬貨に対応可能なこと。
	紙幣対応	11 紙幣対応	1000円札紙幣に対応可能なこと。

別紙4 搭載データ一覧

No	情報名	所管	形式	更新頻度	備考
1	都市計画図	都市・交通計画課	Shape	年1回程度	
2	立地適正化計画図	都市・交通計画課	Shape	※1	
3	地形図（白地図）	都市・交通計画課	Shape	※1	
4	指定道路図（道路種別）	住宅まちづくり課	BDS	年1回程度	
5	市道認定道路図	道路公園課	BDS	年1回程度	窓口端末と同等の情報を想定
6	下水道管路施設	下水道課	Shape	年1回程度	窓口端末と同等の情報を想定
7	寝屋川流域洪水リスク表示図	危機管理室	Shape	※1	防災ハザードマップと同等の情報を想定
8	淀川洪水浸水想定区域図	危機管理室	Shape	※1	防災ハザードマップと同等の情報を想定
9	淀川浸水継続時間図	危機管理室	Shape	※1	防災ハザードマップと同等の情報を想定
10	寝屋川浸水継続時間図	危機管理室	Shape	※1	防災ハザードマップと同等の情報を想定
11	内水ハザードマップ	危機管理室	Shape	※1	防災ハザードマップと同等の情報を想定
12	地震震度分布図（上町断層帯地震）	危機管理室	Shape	※1	防災ハザードマップと同等の情報を想定
13	地震震度分布図（南海トラフ地震）	危機管理室	Shape	※1	防災ハザードマップと同等の情報を想定
14	倒壊危険度図	危機管理室	Shape	※1	防災ハザードマップと同等の情報を想定
15	周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲	生涯学習・スポーツ振興課	Shape	年1回程度	文化財ガイドマップと同等の情報を想定

・搭載データの詳細は、現在窓口や既存資料で公開している情報と同等とする。

・BDS形式で作成しているデータについては、Shape形式で貸与予定である。

・各データの詳細については、必要に応じて所管部署に確認をすること。

オープンデータ一覧

No	情報名	所管	形式	更新頻度	備考
1	AED設置箇所一覧	魅力創造発信課	ExcleまたはCSV	※1	AEDの設置箇所の一覧
2	介護サービス事業所一覧	高齢介護課	ExcleまたはCSV	※1	介護サービス事業所の一覧
3	文化財一覧	生涯学習・スポーツ振興課	ExcleまたはCSV	※1	文化財の一覧
4	指定緊急避難場所一覧	危機管理室	ExcleまたはCSV	※1	市区町村から提供される指定緊急避難所の一覧
5	公共施設一覧	魅力創造発信課	ExcleまたはCSV	※1	公共施設の一覧
6	子育て施設一覧	子育て支援政策課	ExcleまたはCSV	※1	幼稚園、保育園、認定こども園の一覧（赤ちゃんの駅含む）
7	公衆トイレ一覧	道路公園課	ExcleまたはCSV	※1	公衆トイレの一覧
8	公衆無線LANアクセスポイント一覧	総務課、コミュニティ推進課	ExcleまたはCSV	※1	公衆無線LANアクセスポイントの一覧
9	消防水利施設	危機管理室	ExcleまたはCSV	※1	消防水利施設の一覧

・各データの詳細については、必要に応じて所管部署に確認をすること。

※1 更新頻度については不定期であるため、その都度対応すること。

別紙5 SLA規定

項番	サービスレベル		内容	基準値	
	設定項目				
1	可用性	稼働時間	利用者向けサービスの提供時間。(但し、メンテナンス時間*除く。メンテナンス時間は月間10時間以内。)	24時間365日	
2		稼働率	サービスの利用が可能な時間のうち、実際に利用可能な時間の割合	99.5%以上	
3	性能	応答時間	LTE回線でインターネットに接続された端末で、地図移動、拡大、縮小、地図上の情報切替え等の任意の操作から表示完了までの応答時間	3秒以内	
4			スマートフォンで、地図移動、拡大、縮小、地図上の情報切替え等の任意の操作から表示完了までの応答時間	LTEを想定し3秒以内	
5	拡張性	データ容量	主題地図やレイヤの登録数に関する制限	制限なし	
6	信頼性	死活監視	ハードウェアの死活監視・障害監視の間隔	10分以内	
		障害監視			
7		H/W障害対応	一次通知	障害検知時から発生を通知するまでの時間	営業日においては1時間以内 営業日以外は1日以内
			二次通知	障害検知時から回復予定(対応状況及び復旧予定日時、復旧の見通しが立たない場合は未定の旨)を通知するまでの時間	2時間以内
9		H/W障害復旧時間	障害検知時から復旧までの時間	48時間以内	
10		記録(ログ等)	利用状況、例外処理及びセキュリティ事象のログ保存期間	3ヶ月	
11		セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	原則1回/月 (緊急時は協議)	
12		ウイルス対策監視	パターンファイルの更新間隔(ベンダーリリースからパターンファイル更新開始までの時間)	24時間以内	
13		不正アクセス監視	不正アクセス検知から発生を通知するまでの時間	30分以内	
14			不正アクセス検知から対応着手するまでの時間	2時間以内	
12		バックアップ	バックアップ頻度と世代管理	1日1回(5世代管理)	
13		リカバリポイント	復旧データのバージョン(障害発生から遡り、復旧するデータの時点)	前日バックアップデータまで復旧	
14		通信の暗号レベル	HTTPSによる通信路の保護	有	
15		データセンター	サーバメンテナンス	サーバメンテナンス作業開始から終了までの時間	3時間以内
	処理時間				
16	サービス窓口		電話受付時間(電話による問合せ受付・回答)	平日: 8:30~18:00 (土・日・祝日及び12/29~1/3を除く)	
		メール受付時間(メールによる問合せ受付・回答)	24時間365日		
17	サービス停止事前通知	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前通知	原則2週間前に事前通知		
18	報告	アクセスログ集計	アクセスログを取得し、主題地図ごとに一般利用者(市民等)と庁内(職員)を分けて集計したアクセス数(訪問数・ビュー数)を報告	月毎に取りまとめを行い、1回/年の報告とする。	
19		業務報告	稼働経過を取りまとめ報告書を作成・提出、報告内容は以下を想定	月毎に取りまとめを行い、1回/年の報告とする。	
			・稼働時間・稼働率、アクセス数		
			・利用者の傾向分析(アクセスログ集計結果より傾向分析)		
			・新規公開データ		
			・公開停止データについての整理		
・ヘルプデスクへの問い合わせ履歴					
・OS・ウイルス修正パッチの更新履歴					